

【徳島県】
校務 DX 計画

本県では、文部科学省が示す「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」を踏まえ、教育 DX を推進する。GIGA スクール構想の理念に基づき、ICT 環境を最大限に活用し、教職員が児童生徒に向き合う時間を創出、質の高い教育活動を展開できる環境整備を目的とする。特に、クラウドツールの未活用、Fax や押印、校務支援システムへの不要な手入力といった校務効率化の阻害要因を解消し、教職員の負担軽減を図る。さらに、文部科学省の実証事業の動向を踏まえ、将来的な校務システム更新を見据え、現状分析を行い、望ましい校務のあり方を検討する。これにより、本県における校務 DX を円滑かつ効果的に推進することを目指すものである。

1. クラウドツールの積極的な活用と情報共有基盤の構築

県域 Google アカウントを基盤に、教職員の働き方改革と教育の質向上を目指す。Google Workspace の全面的な活用を促すため、実践的な研修や成功事例の共有、ICT 支援員のサポートを強化する。校内・県内での情報共有ルールを明確化し、Google Drive や Sites 等を活用した効率的な情報共有体制を整備する。柔軟な働き方を支援するため、ゼロトラストに基づいた安全なアクセス環境を検討し、教職員用端末の一台化も視野に入れる。

2. 校務支援システムの刷新とクラウド化の推進

県域でのクラウド型校務支援システムの導入に向け、市町村と連携して具体的な検討を進める。システム運用・保守の効率化、データ連携の強化、セキュリティレベルの向上を図る。導入にあたっては、教職員のニーズを踏まえた多機能なシステムを検討し、スムーズな移行と定着に向けたサポート体制を整備する。将来的には、校務支援システムと他の教育関連システムとのデータ連携基盤の構築も視野に入れる。

3. 次世代の校務デジタル化に向けたデジタル採点の導入と活用支援

校務効率化と教育の質向上を目指し、デジタル採点システムの導入を検討する。手書き答案のデータ化、自動採点、フィードバックの迅速化による教員の負担軽減と、きめ細やかな指導の実現を目指す。導入にあたっては、既存の校務支援システムとの連携やセキュリティ対策、操作の簡便性を重視する。全ての教職員が効果的にシステムを活用できるよう、研修やサポート体制を整備する。導入効果検証を行い、段階的な導入範囲の拡大を図る。

4. 押印制度の抜本的な見直しとペーパーレス化の推進

県例規等で押印が義務付けられている書類について、メールや保護者連絡システム等の活用を推進し、押印の廃止と見直しを積極的に進める。